



第 37 回例会

2021. 4. 14

会員 73 名中 49 名出席 67.12%
修正 55 人 75.34%
メイクアップ 6 名

国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク Holger Knaack

国際ロータリー第2530地区ガバナー 石黒 秀司

福島南ロータリークラブ 会長 松崎 弘昭

標語「後から来る者の種火となって共に熱く燃えよう」

例会会場連絡先/クラークリアンテサンパレス TEL 024-523-3811 毎週水曜日 12:30~

◆会長挨拶 松崎 弘昭 会長



今年の桜は開花も早かったせいで、福島の平地ではもう既にほとんど散ってしまったようでありませう。桜の香は淡く、自然の召すまま風が吹けば、深く散るといった「清澄爽快」なところが万人の心をときめかすのかもしれませんが、そして、里の桜が終わりに近づくと、吾妻小富士の山腹に雪ウサギが現れ、標高の高い山々にも新緑が芽吹き始めます。長かった厳冬から転じて眩い春光に漂う解放感で心が踊ってきます。

さて、今日は、今年度ガバナー補佐の最後の訪問です。この訪問に感謝して、アインシュタインの相対性理論を引き合いに出して少しお話をさせていただきます。ニュートンはリンゴが木から落ちるのを見て引力を発見したということは有名ですが、これは、古典力学と言われているものです。そして、物体に働く重力は、質量に比例しますので、 $重力 = 質量 \times 重力加速度$ g ということになります。と、こんなことを言っていると、「何を言っているの」とちんぷんかんぷんな人や、そもそもそんなものに興味が無いという方が居眠りを始めるわけです。何故居眠りを始めるのかを考えると難しい相対性理論の入り口に入ることができます。

昔は、太陽や月が地球の周りを回っている（天動説）と信じられていましたが、コペルニクスによって、地球は太陽の周りを回っている（地動説）と気づくのです。でも当時は、地動説を唱える人を神への冒涇だとして処刑されるケースもあったようです。時速 60 キロで走るバスがあったとします。近くに立っている人から見ればそのバスの速度は時速 60 キロになります。しかし、同じ方向に時速 50 キロで走る自動車から見るとバスの速度は時速 10 キロになります。だからバスに乗っている乗客もある程度見えるわけです。それが、反対方向に同じ速度ですれ違う別のバスから見たらその速度は時速 120 キロになって、当然、すれ違うバスに乗っている乗客の顔やその表情などは見えるはずがありません。これが、同じバスに乗っている人同士は、その時速はゼロということになって、乗客の顔や表情が良く見えるのです。

今日のスピーチでは、60 キロで走っている最初のバスが廣澤ガバナー補佐ということになります。皆さんは、どのような心の位置関係で聴くことになるのでしょうか。

このように考えると、世の中の物事だけでなく人間の感情も、全て自分と相対するものとの関係で成り立っていて、その関係次第で見え方や感じ方が変わってくるのです。

私たちロータリアンは、「思いやり」という崇高な「奉仕の理念」を追求している者として、自分の立ち位置を相手に合わせて自在に変えられる寛容の心を持っています。いや、持っているはずです。

今日はスピーチを拝聴する立場として、今お話しした相対性を意識してガバナー補佐の立ち位置に寄り添って聴いて頂ければ、また違った感覚でこの時を過ごせるのではないのでしょうか。

次回 4月21日(水) 第38回例会プログラム

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング
3. 四つのテスト
4. 来訪者紹介と会長挨拶
5. スマイル BOX 報告
6. ゲストスピーチ
7. 幹事報告
8. 閉会点鐘

危機管理

(地区 R 財団委員会委員長 危機管理委員会 早川 敬介 様)

【 例会 予定 】

- 4月28日(水) 会員スピーチ (笠 雅樹会員・大本 雅晴会員)
5月5日(水) 休 会 (こどもの日)
5月12日(水) 誕生祝い、ローリーの友読みどころ、クラブフォーラム

【 地区・分区・その他関連行事 】

- 4月21日(水) 指名準備委員会、パスト会長会
5月14日(金) 福島 21RC 創立 20 周年記念式典



◆ガバナー補佐訪問

県北第一分区ガバナー補佐 廣澤 俊樹 様

入会当初、退会を考えていた廣澤ガバナー補佐が、如何に現在まで 25 年間ロータリーを続けて来られたかを熱く語っていただきました。

大きな要因は、娘さんが中学 1 年の頃に「四つのテスト」を語っていた時に偶然にもロータリー奨学金で留学された先生から、「全世界の人が四つのテストを理解したら、戦争は無くなる、お父さんは良いクラブに入っているな」と言われた事。そして、たまに出る例会で必ず声をかけてくれる方がいた事、ロータリーは良いところがあるからと粘り強く委員長に推薦してくれた方がいた事などエピソードをお話いただきました。

25 年を振り返って、ロータリーを楽しくする術を心掛けてきたこと、辞めなくて良かったと話されました。

最後にロータリーは生活の一部であり全てではなく、頑張りすぎると疲れる、周りをよく見て自分のスタンスを守ることが肝要であり、早く退会する方は「～してもらえなかった」と受け身であり、待っているはダメで、自分から行かなければならないと話されました。

そして、若い人は勉強ができる、体験ができる、ロータリーに居れば良いことが起きるかもしれないと締めくくられました。

* 廣澤ガバナー補佐には体験を赤裸々に語っていただき、また、熱い思いと心構えを説いていただき感謝申し上げます。



◆米山記念奨学会委嘱状授与

鈴木 洋子 会員



松崎会長より米山記念奨学会委嘱状が授与されました。

ベテランカウンセラー鈴木洋子会員の活躍を期待しています。



◆【ご報告】2580 地区ガバナーエレクト 東京麹町ロータリークラブ 若林 英博 様



若林ガバナーエレクトより感謝のメールが届きましたのでご報告いたします。

びっくりしました。家宝になるような素晴らしい寄せ書きを頂き、只々感謝です。心よりお礼申し上げます。最高です。12 日の例会で急に須藤会長から声がかかりまして、会員の前で手渡していただきました。

そして遅れましたが、50 周年おめでとございます。私もズームにて参加したかったのですが、丁度月末で京都での会議に行っていました。残念でした。

10 年前 3/11 の東日本大震災は想像を絶する災害で、福島の方々には言葉にできない苦痛を受けられたことと思います。麹町クラブは皆で手分けをして、結果福島への救助救援を最優先することとなりました。今も、あの当時の事が思い出されます。とても大変でしたね。逆に我々の方が気を使って頂いて、申し訳なく恐縮しております。

さて、ガバナー年度の準備は悔いが残らないように精一杯頑張っています。

1/26 から 3/23 までの間に、当地区は 70 クラブありますが、全てのクラブ会長エレクトと一人ずつ 1 時間、スタッフを数名入れてズームミーティングしました。一日 3 クラブ平均です。これは大変良かったと思っています。体力的にはきつかったですが、各クラブの現状とこれらが解り、どのようにして計画を立てられるか、出来る範囲でお話ししました。これに基づいて PETS で話をする予定です。

これからコロナが収まり対面でお会いできるようになれば、直ぐにでも参ります。

この度は私の為に寄せ書きを頂き、改めてお礼申し上げます。ありがとうございます。

皆さんに於かれましては、コロナに十分気をつけてお過ごしくださいませ。来年なら行けそうですね。「2580 ガバナーエレクト 東京麹町ロータリークラブ 若林英博」

